

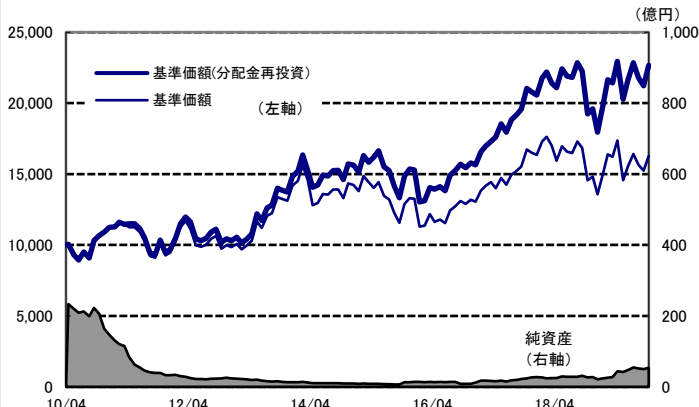


### 運用実績

2019年10月31日 現在

#### 運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 16,288円

※分配金控除後

純資産総額 53.7億円

- 信託設定日 2010年4月16日
- 信託期間 2025年4月28日まで
- 決算日 原則 4月27日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

#### 騰落率

期間	ファンド
1カ月	6.8%
3カ月	-0.8%
6カ月	-1.2%
1年	17.7%
3年	46.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 126.6%

設定来累計 4,675円

設定来=2010年4月16日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

#### 分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2019年5月	860円
2018年4月	800円
2017年4月	700円
2016年4月	450円
2015年4月	725円

### 資産内容

2019年10月31日 現在

#### 国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	83.7%
中国	4.3%
オランダ	3.9%
フランス	1.0%
韓国	0.9%
その他の国・地域	0.7%
その他の資産	5.7%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

#### 通貨別配分

通貨	実質通貨比率
日本・円	98.6%
その他の通貨	1.4%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

#### 規模別配分(時価総額ベース・純資産比)

1,000億米ドル以上	38.1%
100億米ドル以上1,000億米ドル未満	41.6%
100億米ドル未満	14.7%
その他の資産	5.7%
合計	100.0%

#### 事業分野別配分

事業分野	純資産比
クラウドコンピューティング	89.3%
スマートグリッド	5.1%
-	-
その他の資産	5.7%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

### 組入上位10銘柄

2019年10月31日 現在

銘柄	国・地域	事業分野	純資産比
ROKU INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	6.5%
MICROSOFT CORP	アメリカ	クラウドコンピューティング	4.0%
TESLA INC	アメリカ	スマートグリッド	3.6%
FACEBOOK INC-A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.5%
BROADCOM INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
INTEL CORP	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
TWILIO INC - A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
SERVICENOW INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.2%
SQUARE INC - A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.0%
SNAP INC-A	アメリカ	クラウドコンピューティング	2.7%
合計			36.8%

組入銘柄数: 52 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

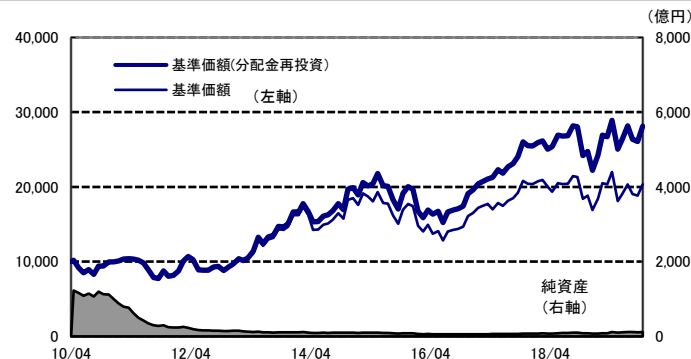


### 運用実績

2019年10月31日 現在

#### 運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

**基準価額※** 20,329円

※分配金控除後

**純資産総額** 117.5億円

- 信託設定日 2010年4月16日
- 信託期間 2025年4月28日まで
- 決算日 原則 4月27日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

#### 騰落率

期間	ファンド
1か月	7.9%
3か月	-0.1%
6か月	-2.7%
1年	16.2%
3年	61.5%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に選った期間としております。

#### 分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2019年5月	1,090円
2018年4月	1,000円
2017年4月	880円
2016年4月	720円
2015年4月	900円

**設定来** 181.4%

**設定来累計** 5,570円

設定来=2010年4月16日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

### 資産内容

2019年10月31日 現在

#### 国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	83.5%
中国	4.3%
オランダ	3.9%
フランス	1.0%
韓国	0.8%
その他の国・地域	0.7%
その他の資産	5.8%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。

#### 通貨別配分

通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	97.8%
香港・ドル	1.2%
韓国・ウォン	0.8%
日本・円	0.1%
-	-
その他の通貨	0.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

#### 規模別配分(時価総額ベース・純資産比)

1,000億米ドル以上	38.0%
100億米ドル以上1,000億米ドル未満	41.5%
100億米ドル未満	14.7%
その他の資産	5.8%
合計	100.0%

#### 事業分野別配分

事業分野	純資産比
クラウドコンピューティング	89.1%
スマートグリッド	5.1%
-	-
その他の資産	5.8%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

### 組入上位10銘柄

2019年10月31日 現在

銘柄	国・地域	事業分野	純資産比
ROKU INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	6.5%
MICROSOFT CORP	アメリカ	クラウドコンピューティング	4.0%
TESLA INC	アメリカ	スマートグリッド	3.6%
FACEBOOK INC-A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.5%
BROADCOM INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
INTEL CORP	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
TWILIO INC - A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.4%
SERVICENOW INC	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.2%
SQUARE INC - A	アメリカ	クラウドコンピューティング	3.0%
SNAP INC-A	アメリカ	クラウドコンピューティング	2.7%
合計			36.7%

組入銘柄数: 52 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 先月の投資環境

○ 米国株式市場は上旬、9月の米ISM製造業景気指数が市場予想に反して一段と低下したことなどから米景気の先行きへの懸念が強まり、下落して始まりました。しかし中旬には、米中貿易協議で部分合意に達したことや、米企業の7-9月期決算が堅調な滑り出しとなったことなどを背景に持ち直しました。下旬に入っても、米中貿易交渉の進展期待や市場予想以上の米企業決算などを受け上昇基調となり、月間では上昇しました。

○ MSCI World IT Index※(米ドルベース、配当込み)の月間騰落率は4.92%の上昇となりました。サブセクター別では、半導体・半導体製造装置セクターやテクノロジー・ハードウェアおよび機器セクターなどが上昇しました。

○ 個別銘柄では、マイクロソフトが市場予想を上回る7-9月期決算を発表しました。アジュールなど企業向けのクラウド事業がけん引しました。同社のCEO(最高経営責任者)は、高度な演算を必要とするAI(人工知能)サービスはクラウドを使う法人の開拓につながると強調し、AIサービスを潤沢にするとしております。また、インテルは、データセンターやIoT(モノのインターネット)向けなどの半導体事業が好調で、売上高は四半期ベースで過去最高を更新し、12月通期の業績見通しを引き上げました。

テスラは、世界最大のEV(電気自動車)市場である中国の新工場でEVの試作車の生産を、2019年末としていた予定よりも前倒しで実現しました。7-9月期のEVの販売台数は四半期ベースで過去最高となり、三四半期ぶりに最終損益が黒字に転換しました。

※ MSCI World IT Indexの著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 基準価額の騰落率(分配金再投資)は、月間で、Aコースは6.82%の上昇、Bコースは7.94%の上昇となりました。

○ 組入銘柄のうち、ロクやテスラなどの株価が上昇したことがプラスに寄与した一方で、スナップなどの株価が下落したことがマイナスに影響しました。

○ 主な売買では、米国のサイバーセキュリティ・プラットフォーム提供会社などの株を新規に買い付けし、スナップなどの株を買い増しました。一方、米国のインターネットセキュリティ・ソリューション会社株などを全売却し、マイクロソフトなどの株を一部売却しました。

## 今後の運用方針 (2019年10月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

当面の運用方針は次の通りです。

○クラウド・コンピューティングは、過去数年間にわたって様々な形で大きなけん引力を発揮してきました。クラウド・サービスとソフトウェア・プロバイダー業界は、IT支出を上回る収益成長を続けており、投資はその成長に追いついていません。つまり、収益性は現在のところ、規模の実現に依存していると言えます。また、半導体・半導体製造業界のファンダメンタルズ(基礎的条件)につきまちは、米中の貿易摩擦が解決に向かい、中国が更なる景気刺激策を実行に移すことがあれば、2019年後半には回復するものと考えております。

○クラウドやインターネット関連銘柄は、短期的には株価の変動性が高い状態が続いておりますが、長期的には企業の健全なファンダメンタルズを反映した動きに収れんするものと見ています。市場全体のリスク許容度には引き続き注視しますが、クラウド・コンピューティング関連企業※の多くは長期的な成長過程にあり、今後10年にわたり最も大きなトレンドの一つになっていくものと考えています。

※クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



### 組入上位10銘柄の解説

2019年10月31日現在

銘柄	組入銘柄解説
1 ROKU INC ロク	家電製品メーカー。家庭用電化製品の設計および製造を手掛ける。インターネットから家庭用娯楽システムへ音声・動画コンテンツをストリーム配信する無線利用可能なデバイスを提供。世界各地で事業を展開。
2 MICROSOFT CORP マイクロソフト	ソフトウェアメーカー。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売、サポートに従事。オペレーティングシステム、サーバー・アプリケーション、法人・個人向けアプリケーションのソフトウェア、ソフトウェア開発ツール、およびインターネット/イントラネットソフトウェアを手掛ける。テレビゲーム機、デジタル音楽・娯楽用機器も開発する。
3 TESLA INC テスラ	2010年6月29日ナスダック上場。テスラ社は、バッテリー式電気自動車及び電気自動車関連商品のデザイン、開発、製造、販売を業務とする。
4 FACEBOOK INC-A フェイスブック	インターネットメディア会社。ソーシャルネットワーク・ウェブサイトを運営。家族・友人・同僚間のコミュニケーションを可能にするウェブサイトを提供する。ユーザー間における情報、写真、ウェブサイトリンク、ビデオなどの共有を容易にする技術も開発。ユーザーは、各自の基準を具体的に設定して情報を共有・制限できる。
5 BROADCOM INC ブロードコム	半導体メーカー。半導体および集積回路の設計、開発、供給を手掛ける。ブロードバンドアクセス、ケーブル、スイッチ、ネットワーク・プロセッサ、ワイヤレス・コネクタなどの製品を提供。世界各地で事業を展開。
6 INTEL CORP インテル	コンピューター部品メーカー。コンピューター部品および関連製品を設計、製造、販売する。主な製品は、マイクロプロセッサ、チップセット、組み込みプロセッサ、マイクロコントローラー、フラッシュメモリ、グラフィック、ネットワーク・通信、システム管理ソフトウェア、会議装置、デジタル画像製品など。
7 Twilio Inc. トゥイリオ	アプリケーションソフトウェア会社。インターネットインフラソリューションの開発・提供を手掛ける。ウェブ開発者向けに、電話、インターネットプロトコル音声通信、およびテキストメッセージをウェブ、モバイル、電話アプリに統合するクラウド・コンピューティング・プラットフォームを提供。世界各地で事業を展開。
8 ServiceNow INC サービスナウ	企業向け情報技術(IT)管理ソフトウェアメーカー。パッケージ化されたコンピューターソフトウェア、クラウドサービス、ITサービス管理プラットフォームの設計、開発、製造を手掛ける。全米で事業を展開。
9 SQUARE INC スクエア	モバイル決済ソリューションを提供。電子領収書、在庫、販売報告用のPOS(販売時点情報管理)ソフトウェアの開発のほか、分析とフィードバックも提供する。金融、マーケティングサービスも手掛ける。
10 SNAP INC-A スナップ	テクノロジー・ソーシャルメディア・サービス会社。写真、画像、文書、動画などを送受信できるモバイル・カメラ・アプリ製品とサービスの開発に従事。世界各地で事業を展開。

(出所)「組入銘柄解説」は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・US・エル・エル・シー、およびBloombergの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

### ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象\*とします。  
 ※「実質的な主要投資対象」とは、「野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ・ファンドにおいて「クラウドコンピューティング」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する形態のことをいいます。  
 ファンドにおいて「クラウドコンピューティング関連企業」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。
  - ・ファンドにおいて「スマートグリッド」とは、情報技術等を活かして構築され、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する次世代電力インフラのことをいいます。  
 ファンドにおいて「スマートグリッド関連企業」とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- 株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。  
 各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、以下の委託先に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託先名称	委託先所在地
Allianz Global Investors U.S. LLC (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・US・エル・エル・シー)	米国 カリフォルニア州 サンフランシスコ市
Allianz Global Investors GmbH (アリアンツ・グローバル・インベスターズ GmbH)	ドイツ連邦共和国 フランクフルト市
Allianz Global Investors Asia Pacific Limited (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド)	中華人民共和国 香港

- 原則、毎年4月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。  
 \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



### 投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 2025年4月28日まで(2010年4月16日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則4月27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・フランクフルト証券取引所  
・ニューヨークの銀行 ・フランクフルトの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.947%(税抜年1.77%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

### 【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

**野村アセットマネジメント株式会社**  
 ★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)  
 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時  
 ★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**  
 [ファンドの運用の指図を行なう者]  
 <受託会社> **野村信託銀行株式会社**  
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。 )ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

### ◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# 野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信

## Aコース/Bコース

### お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。